

取扱説明書

■コールドタンク

COT-3M

COT-10M

COT-20BM

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項及び取扱方法について記載しています。
ご使用前に必ずお読みになり、十分に理解してからご使用ください。
また、本書はすぐに確認出来る場所に大切に保管してください。

■ 重要なお知らせ

- ・ この取扱説明書で扱われている製品は塗布専用の商品です。他の用途には使用しないでください。
- ・ 操作や機能を正しくご理解いただくため、この取扱説明書を必ずお読みになり、重要な警告、注意事項および取扱方法について、十分に理解された方が使用してください。
- ・ 正しい方法にてご使用いただけない場合、死亡や重大な身体上の障害、火災や爆発が起こる可能性がありますので十分ご注意願います。



この取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

● 安全性について

- ・ 本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、それぞれの企業や事業所で規則・規定として守るべき事項に従ってください。
- ・ 本文中に次の警告・注意マークで示している箇所は、安全にお使い頂くため、特に重要です。
- ・ 絵表示、記号の意味は次のようになっています。

注意喚起の表示

 警告	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物理的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

絵表示の例

	この記号は『注意すべきこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。(左の例は換気に注意)
	この記号は『してはいけないこと』を意味しています。 記号の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。(左の例は接触禁止)
	この記号は『しなければならないこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な指示内容を示します。 (左の例は保護マスクを着用せよ)

※警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、当社では責任を負いかねますので、御了承願います。

● 補足表示について

重要	この記号は機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくため、守っていただきたい内容を示しています。
ワンポイント	この記号は使用にあたって役立つ知識、アドバイスなどを示しています。

● この商品の保証について

巻末に保証とサービスについての説明があります。良くお読みください。

重要なお知らせ

1. 安全性について	2
2. 現品確認	3
3. 仕様	4
4. 各部の名称及び機能	5
5. 設置・取付	7
6. 取扱	7
7. 保守点検	12
8. 故障と対策	14
9. 構成部品	15
10. 保証と修理サービス	17

■ 1. 安全性について

<h2>警告</h2>	
<h3>保護具の着用</h3> <p>・作業中は、眼鏡、マスク及び手袋などの保護具を必ず着用してください。 液材や溶剤が目に入ったり、吸い込んだりする危険性があります。 異常を感じたら直ちに医師の治療を受けてください。</p>	
<h3>換気に注意</h3> <p>・換気の良い場所で使用してください。 換気の不十分な狭い場所で使用すると、液材や溶剤の飛散した揮発溶剤を吸い込み、有機溶剤中毒を起こすことがあります。 作業中、身体に異常を感じたら、直ちに医師による治療を受けてください。 ・液材や溶剤の飛散した揮発溶剤などに引火し、火災や爆発を引き起こす可能性があり、非常に危険です。</p>	
<h3>装置の誤用による危険</h3> <p>・液材の圧送以外の用途に絶対使用しないでください。 十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。 ・1.1.1トリクロルエタン、トリクロルエチレンなどハロゲン炭化水素系の液材は使用しないでください。 製品と化学反応し、クラックを生じる恐れがあります。 特殊な洗浄用溶剤での適合性の判断に、コールドタンクに使用している材料のリストが必要な場合は、提出する用意があります。 ・人や動物に向けてスプレーしたり、スプレーガンの空気キャップ先端に身体を当てて、スプレーしないでください。 目や口及び皮膚などから直接体内に液材や溶剤が入った場合、非常に危険です。 ・ホースの接続は確実に行ってください。人体が損害を負う及び、物理的損害が生じる可能性があります。</p>	
<h3>火気禁止</h3> <p>・火気の近くや火気のある場所で絶対に使用しないでください。特に下記のものには着火源となる可能性があり、非常に危険です。 ・タバコなどの裸火ストーブ、ランプ及びヒーターなどの電気用品 ・引火点が低く着火しやすい液体は使用しないでください。 金属同士の接触による火花や、放電スパーク等で火災が発生する可能性があります。</p>	
<h3>アースの接続</h3> <p>・コールドタンク、スプレーガン、被塗物及び液材や溶剤を入れる容器は、アースの接続を確実に行ってください。 当社指定のアース線入りウレタンエアホース(EAHU形)の使用、または単独でアースの接続を行ってください。 アースが不十分ですと、静電気のスパークによる爆発や火災の危険性があります。</p>	
<h3>ホースの破裂に注意</h3> <p>・ホースを傷つけないため、半径50mm以下に曲げたり、重いものを載せないでください。 ホースが破損し、非常に危険です。 ・ホースは、漏れや緩みのないように、確実に接続してください。 作業中にホースが外れた場合、液材の飛び跳ね、ホースの暴れによるけがなど重大な傷害をおよぼす可能性があります。 ・下記のようなホースは絶対に使用しないでください。作業中にホースが破損する恐れがあり、非常に危険です。 ・穴が開いている ・傷が付いている ・折れ曲がっている ・つぶれて変形している</p>	
<h3>食品、医薬品に使用禁止</h3> <p>食品や医薬品、化学薬品等、人体に影響を及ぼす可能性がある液体には使用しないでください。 液材通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。</p>	

警告

破裂に注意

- ・供給エア圧力はかならず最高使用圧力以下(0.4MPa以下)に設定してください。
最高使用圧力以上で作動させると、破損や、液材の噴出、部品の飛散により人体に損傷を与えたり、物的障害を招く可能性があります。
異常発生時に安全弁が働かず、破損による重大な身体上の危険性があります。
- ・コールドタンク内の点検・清掃時には、供給空気を停止し必ず、加圧空気を必ず抜いてから行ってください。
液材の噴出や部品の飛散による重大な身体上の危険の可能性があります。
点検・整備を行う場合は、コールドタンク内の圧縮空気を必ず放出し、抜気音が完全に無くなり、コールドタンクの圧力計で圧力が0MPaであることを確認してから行ってください。
圧力が残っている状態で点検、整備を行うと、分解している部品が飛散してケガをするおそれがあります。

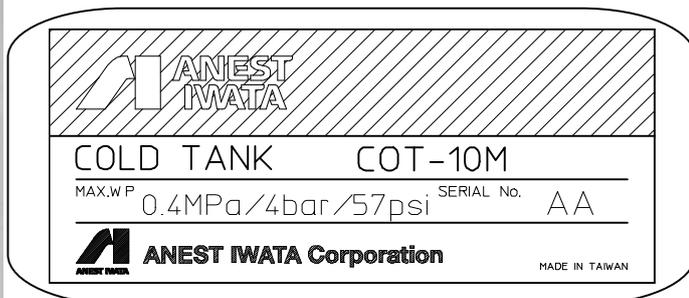


重要

- ・コールドタンクの改造は、絶対に行わないでください。
- ・コールドタンクの整備にかかわる交換部品は、当社純正部品を必ず使用してください。
十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。

2.現品確認

- ・ご注文の製品かどうか、確認してください。また、輸送中に変形や破損した箇所がないか、確認してください。
- ・欠品、輸送上の破損がある場合は、危険防止のため使用せず、購入先の販売店または最寄の当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。



<付属品>

- ・ スパナ (-10M/-20BM)
- ・ 取扱説明書 (本書)
- ・ ハンドル
- ・ ナット (COT-3Mのみ)

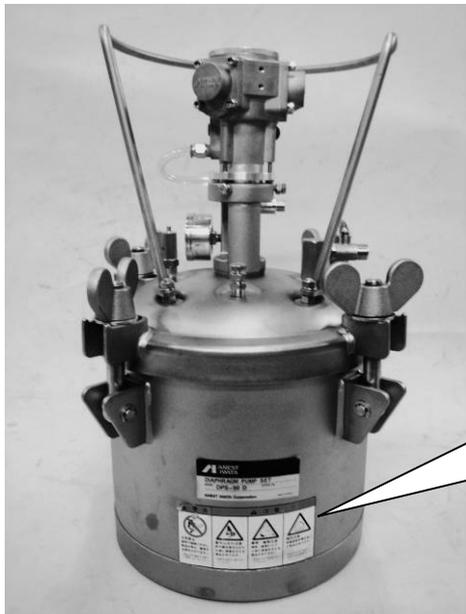


警告ラベル貼付け位置

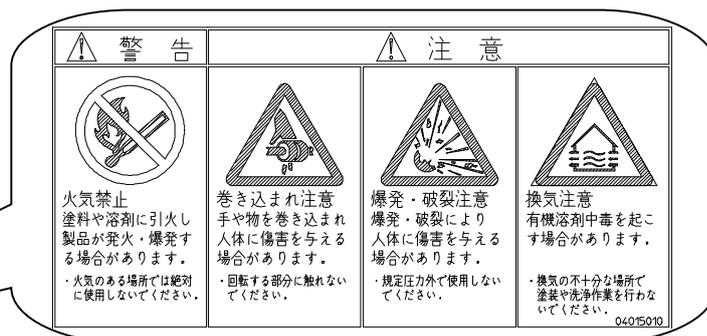
警告ラベル貼付け位置

警告ラベルは、常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は新しいものに貼り直してください。

警告ラベルの購入は、購入先の販売店または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にてお求めください。



コード No. 04015010



■ 3.仕様

項目		COT-3M	COT-10M	COT-20BM
攪拌方式		自動攪拌		
最大単純タンク容量 (ℓ)		4	12	33
実使用許容容量 (ℓ)		3	10	25
最小使用可能容量 (ℓ)		0.5	1	2
最高使用空気圧力 MPa		0.4		
空気取入口 ねじ		G 1/4		
液材取出口 ねじ		G 3/8		
寸法・質量	全高mm	490	505	670
	全長mm	230	360	420
	全幅mm	230	360	420
	質量kg	6.7	16	24
濾過網メッシュ		—	#40	
内容器 【別売り】 (実使用許容容量)		なし	PTC-10W (6ℓ)	PTC-20W (14ℓ)
使用温度範囲		5~40℃		

■ 4. 各部の名称及び機能

コールドタンクは、減圧弁で調整した空気圧力でタンク内の液材を圧送します。

COT-3M

ハンドル
持ち運びの取手として使用します。

安全弁
タンク内圧力が最高使用圧力以上に上昇した場合に圧力を逃がします。
作動圧力 0.41MPa

排気弁
タンク内の加圧空気を排気します。

蝶ナット・ワッシャー

圧力計
液材加圧圧力を表示します。

エアーモーター
攪拌羽根を回転させて液材の沈殿を防ぎます。

液材ボールバルブ
液材ホース接続口 G3/8

スピードコントローラー
このつまみで攪拌羽根の回転速度を調節します。

エアーボールバルブ
空気ホース接続口 G1/4

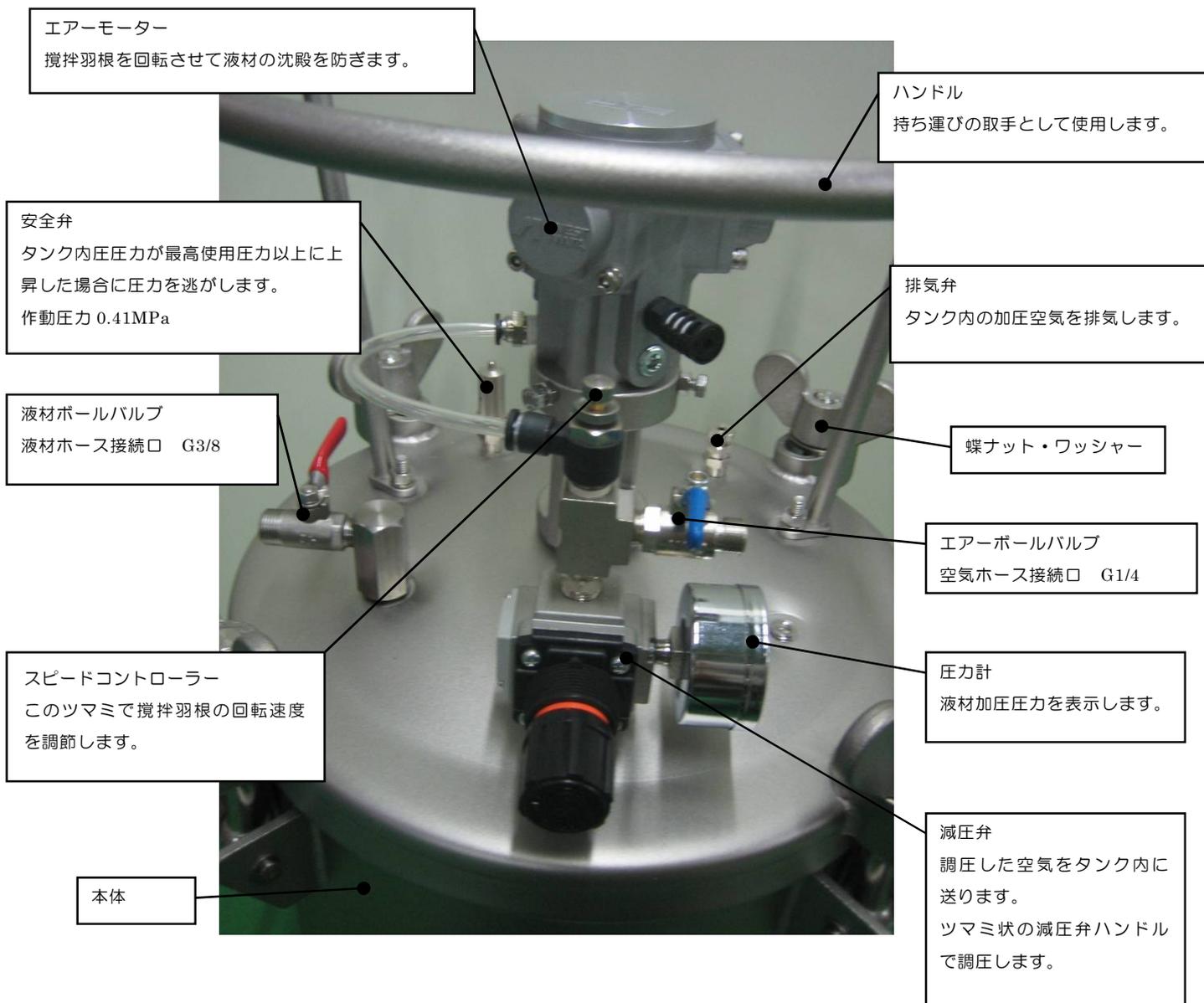
減圧弁
調圧した空気をタンク内に送ります。
つまみ状の減圧弁ハンドルで調圧します。

本体

吸上管
液材が管の内側を通過してタンクの外へ送られます。
(COT-3M に濾過機構はありません。)

攪拌羽根
液材の沈殿を防ぎます。

COT-10M/-20BM



■ 5. 設置・取付

重要

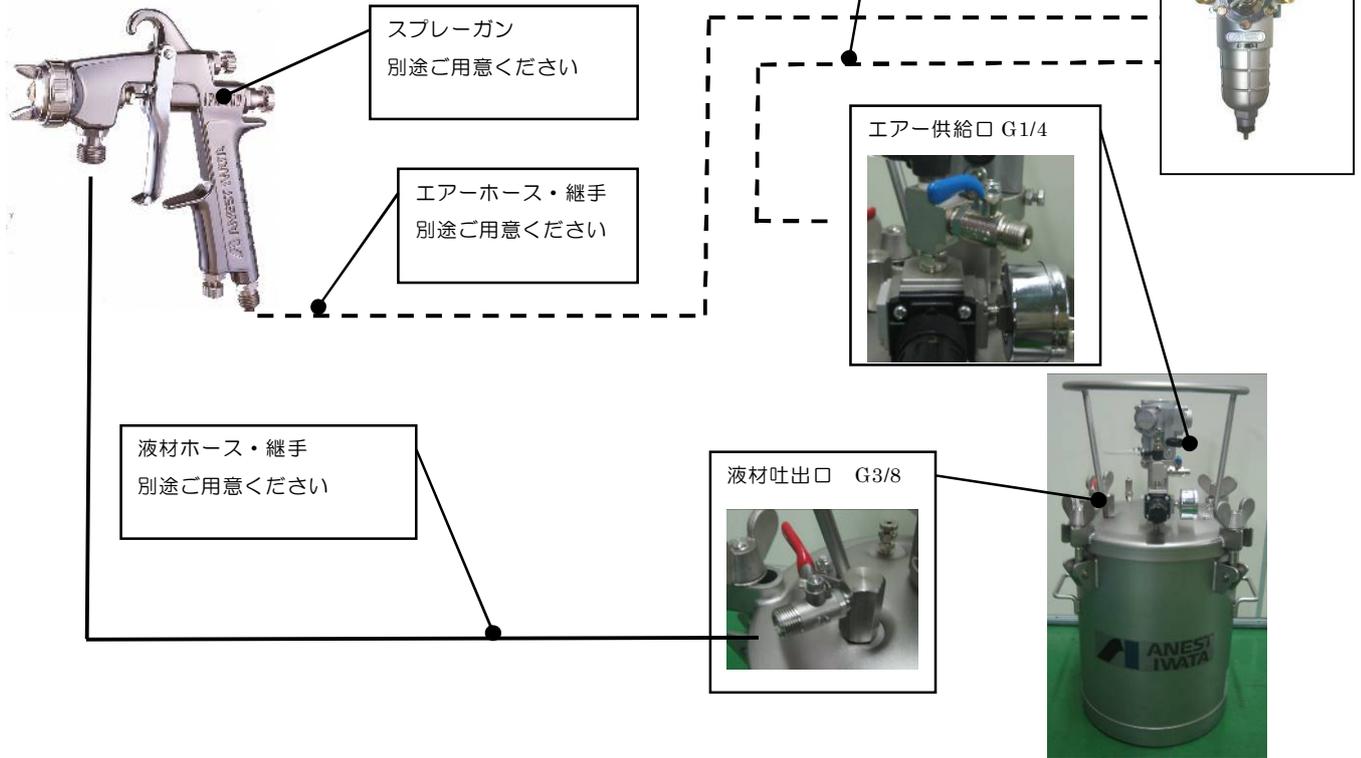
- ・不用意に移動したり倒したりすると思わぬ事故となる恐れがあります。
- ・供給エアはエアトランスフォーマー等で調圧したエアをご使用ください。

手順1

コールドタンクは安全に作業できるよう水平な場所に設置してください。

手順2

入口側エアホース及び出口側塗料ホースはしっかりと接続してください。



■ 6. 取扱

6-1. 運転準備

⚠ 注意



ハンドル蓋セットを持ち上げて内部を点検する時は、加圧空気を必ず排出し圧力が0MPaであることを確認してから行ってください。
圧力による部品の飛散により重大な身体上の危険の可能性があります。

手順 1

エアボールバルブを閉じて供給エアを止めます。

手順 2

排気弁を開いて加圧空気を排出します。

コールドタンク内に加圧エアが入っている状態で蝶ナットを緩めると圧力により部品や液材が飛散し、
重大な事故を起こします。

手順 3

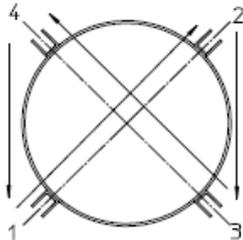
蝶ナットを緩め蓋を持ち上げて内部を点検し、内部が汚れている場合は、洗浄後液材を入れます。

手順 4

蓋を閉じ蝶ナットを付属のスパナでしっかり締め付けます。(締め付けが弱いと、エアーが洩れてしまいます。)

各々の蝶ナットを締め付ける力が均等になるよう注意してください。(下図を参照ください)

締め付けの目安として、手で締められる位置から約 45° ~90° 程スパナで増し締めをしてください。



蝶ナット締め付順序

重要

・圧力が掛かったまま増し締めは行わないでください。ねじが破損する可能性があります。

手順 5

排気弁を閉じます。

6-2. 始動運転と調節

警告



・安全弁を外したり、安全弁の分解や改造は絶対にしないでください。

異常発生時の対応ができず、破裂事故の原因となります。

汚れていると作動不能となり破裂事故の原因となります。

異常がある時は専門家による修理が必要です。

安全弁は、0.41MPaにて作動するよう調整されています。

手順 1

液材の攪拌を行います。自動攪拌式COT-3M/10M/20BM形は、エアーモーターで攪拌羽根を回転させます。

攪拌羽根の回転速度の調整はスピードコントローラーのツマミで行います。ツマミを右に締め込むと回転速度は低下し、左方向に緩めると回転速度は上昇します。

ツマミをゆっくり緩めるとエアーの力が足りず、エアーモーターが回転しない場合があります。

その場合は、エアーボールバルブを一度閉じて、再度開放してください。

液剤の粘度や回転軸シールの状況によって攪拌回転の調整は変わります。目視で回転軸が回っている事をご確認ください。



軸継手が回転しているか
ご確認ください。

ツマミ調整位置を固定する場合はロックナットを締め込んでください。

液剤残量が少なくなった場合に、攪拌羽根の空気巻き込みにより圧送配管内に気泡が入る場合があります。使用量の限度とお考えください。

攪拌羽根を停止する場合はこのツマミを閉め切ってください。

手順 2

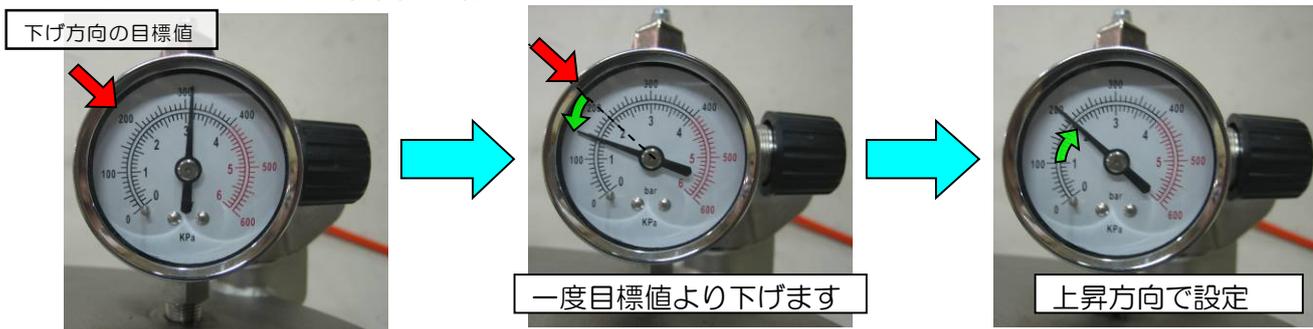
エアースourceよりエアボールバルブに空気を供給し、エアボールバルブを開きます。

減圧弁ハンドルを所要の圧力となる迄、徐々に締込みます。ハンドル左回転で圧力下降、右回転で出口圧力上昇となります。

※減圧弁ハンドルによる圧力設定は必ず上昇方向で行い、圧力設定後はハンドルを押し込んでロックしてください。

下降方向で圧力設定を行うと、当初の設定圧力より低下することがあります。

例) 300kPa→200kPaに変更する場合



手順 3

液材ボールバルブを開き吹付作業を行います。

ワンポイント

- ①現状の圧力設定より少ない圧力へ設定する場合で、上記方法を実施し(上昇方向で最終設定)、正常かを確認する方法は、抜気弁を開けてタンク内圧を少し抜き、閉めた後に加圧エアが充填しきった圧力を見る事で確認できます。
- ②液材加圧圧力と吹付空気圧力の関係は、作業能率と塗り肌 zu 大きな影響を与えます。この場合一般に、液材加圧圧力を0.05MPa程度にして試し吹きを行い、液材加圧圧力の増減、吹付空気圧力やスプレーガンのニードル開度を変化させて最適条件を求めるとします。

6-3. 運転終了時

手順 1

エアボールバルブを閉じ排気弁を開いてタンク内の加圧空気を抜きます。

作業を中断する際や、緊急停止時、液材を注ぎ足す際は必ずコールドタンクへのエアースourceを遮断してから排気弁を開き、タンク内部の圧力を抜いてください。

手順 2

コールドタンク内の接液部の洗浄をします。

塗料ホースや接液部を洗浄液で満たした状態で終了すると次回使用まで溶解が促進されます。

6-4. ご使用の際の注意

警告



- ・安全弁は組立時に調整されておりますから、絶対に改造しないでください。
必要以上の圧力となり危険です。
- ・安全弁が汚損すると上記と同じ危険性を伴いますから管理には充分注意してください。
安全弁は、0.41MPaにて作動するよう調整されています。
- ・液材補給や蓋開閉の際は、エア源を遮断しコールドタンク内の加圧空気を抜気弁で抜き、抜気音が無くなり、圧力計が0MPaであることを確認してから行ってください。
部品、液材が飛散し非常に危険です。
- ・タンクを加圧する場合は蓋を本体にセットし必ずワッシャー・蝶ナットが全数フックに掛かって締めこまれた状態で加圧してください。エアボールバルブの操作は徐々に行ってください。
緩んでいた場合、隙間からエアや液材が飛散し危険です。

注意

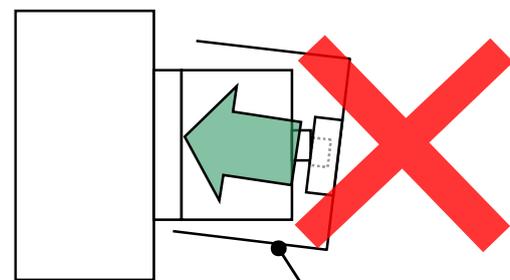
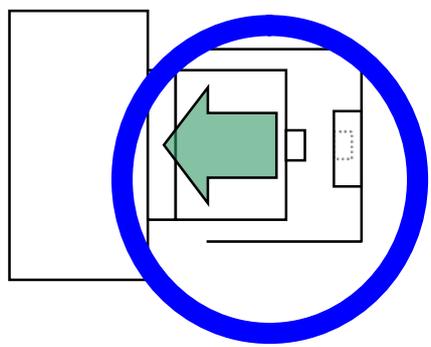
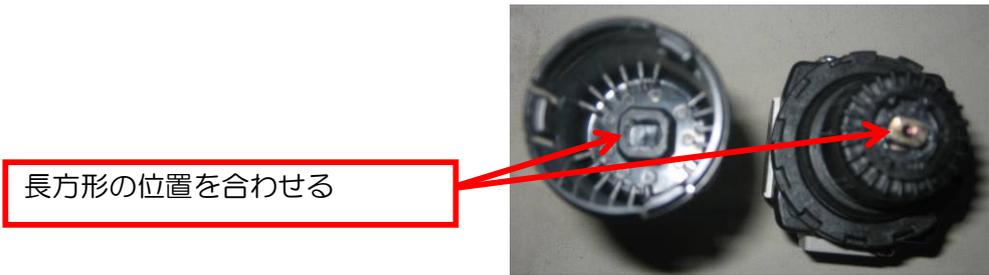


- ・コールドタンクへの加圧空気は必ず空気清浄器を通した水分、油分を含まない、清浄な空気を供給してください。
水分、油分が含まれますと吹付面に欠陥を生じます。
- ・コールドタンクのエア通路部材質はステンレスではありません。
使用する液材によってはエアガイド等が腐食発生する可能性があります。拭き取っても腐食進行する場合はエアガイドを外してご使用ください。
エアガイドを外すと加圧エアが直接液材に当たり、蓋内部に液材が飛散しますので、エアボールバルブの開閉、減圧弁の調整は徐々に行ってください。
- ・ステンレス材部分でも異物の付着状況により、もらい錆が発生する場合があります。
もらい錆部分を清浄なウエスや鉄分を含まないブラシ等でブラッシングする事を推奨します。
- ・攪拌軸のパッキン及びOリング部には定期的に給油ください。7項保守点検参照ください。
給油しないまま使用するとパッキンやOリング類が破損する可能性があります。また攪拌軸の摺動面が極端に消耗する可能性があります。この場合、パッキンやOリングだけを新品に交換してもタンク内部の圧力が洩れる場合があります。圧力が洩れると、内容液体が軸を伝って外部へ飛散する可能性があります。

重要

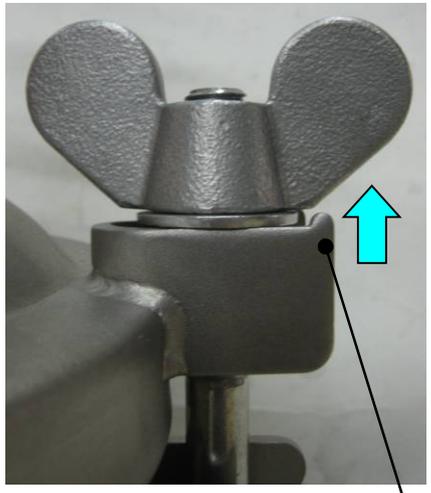
- ・コールドタンク内の液材は、最大単純タンク容量の80%以上入れないでください。
- ・静置状態でご使用ください。
液材を入れ過ぎますと運搬時や攪拌時に液材が蓋部やパッキンに付着し固着したり、安全弁の動作不良や減圧弁バルブゴム損傷や液材逆流等を引き起こす原因となります。使用許容量は3項の仕様表（実使用許容量）をご確認ください。

- 1) 沈殿の激しい液材をご使用の場合、スピードコントローラーで攪拌羽根の回転速度を高めて、液材沈殿がないようにしてください。また回転速度の調整は徐々に行ってください。
- 2) 減圧弁のハンドルを強く締め付けますと、減圧弁の中にあるダイヤフラムが損傷しますので、操作は徐々に行ってください。また、使用していない時は緩めておいてください。
- 3) 減圧弁のハンドルを引っ張るとハンドルが外れる場合がありますが、異常ではありません。ハンドルの再装着の際は写真を参考に調圧スクリューとハンドルの長方形同士を、目視で合わせて真直ぐ押込んでください。



外れたハンドルを曲がった状態で無理やり押し込むとハンドルが破損する可能性があります。

- 3) 内容器をご使用される場合は、別途御購入となります。
- 5) 蝶ナットはロックがありません。緩め過ぎると外れます。落下によるけがにご注意ください。また、開閉する場合はワッシャーがフック形状部分をよけるまで緩めて操作ください。



フック部： ここをよけるまでワッシャーと蝶ナットを緩め開閉します。

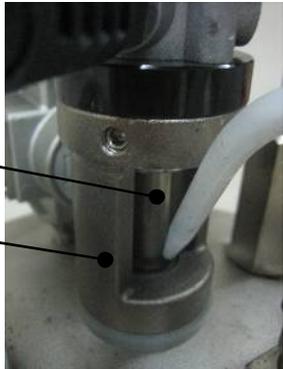
■7.保守点検

⚠ 警告



・分解する時は必ず、エアボールコックを閉めエア源を遮断してから排気弁を開いて圧力を完全に逃がしてください。
 圧力による液材、部品の飛散により重大な身体上の危険の可能性があります。

・次表を参照して、点検と整備を行ってください。

No.	時期	点検、整備内容
1	毎日の点検	<p>① 安全弁の汚れの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観に汚れがあるときは洗浄する。 ・ 安全弁の作動不良の場合は修理が必要です。 購入先の販売店、または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にご相談ください。 <p>② 圧力計の針の作動、ガラスの破損を確認し異常がある時は交換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力を加えない時、針は0（ゼロ）位置に戻る。 ・ 圧力を徐々に加えたとき、針が徐々に上がる。 ・ ガラスが割れていない。 <p>③ 吸込濾過網の目づまり、破損をご確認ください。 清掃間隔は、使用する液材によって変わってきます。</p>
2	定期点検（1回／週）	<p>① コールドタンクは使用後、完全に洗浄してください。 特に液材の通る吸上管、液材ボールバルブ、液材ホースはご使用の液材に合致した洗浄液を通して洗浄してください。</p> <p>② 内外面全体を目視点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タンクの変形、亀裂 ・ タンク蓋の変形 ・ 蝶ナットとボルトの締付状態 ・ タンク蓋パッキン部からのエア洩れ
3	定期点検（1回／月） COT-3M	<p>① 攪拌軸のリングにミネラルオイルを数滴注入してください。 エアモーター取付ステー部より注入します。 入れすぎますと容器の液材に混ざりますのでご注意ください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">攪拌軸</div>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; margin-left: 100px;">エアモーター取付ステー</div> <p>ミネラルオイルはワセリンと同じ化学構造をした鉱物油です。 ミネラルオイルがご使用の液材に影響しないかご確認の上、注油してください。</p>

<p>3 定期点検 (1回/月) COT-10M/-20BM</p>		<p>① エアーマーターを固定している六角ナット、六角ボルト3箇所を緩めてエアーマーターを引き上げてください。</p> <p>② パッキン押しを緩めてください。</p> <p>③ パッキン押しを上げてミネラルオイルを数滴注入します。 入れ過ぎますと容器の液材に混ざりますのでご注意ください。 ミネラルオイルがご使用の液材に影響しないかご確認の上、注油してください。</p> <p>④ パッキン押しを締め付けます。</p> <p>⑤ 六角ボルト、六角ナットを締め付けてエアーマーターを固定します。</p> <p>⑥ タンクにエアを加圧してみて、軸からエアが洩れる場合は洩れが止まるまでパッキン押しを締め増ししてください。締め付け過ぎると軸が回転しにくくなります。</p>	 <p>パッキン押し</p>
--	--	--	---

■ 8. 故障と対策

重要

☆印の処置は、購入先の販売店、または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にご依頼ください。
正しい処置が行われない場合、十分な性能が発揮できなくなります。

現象	原因	対策
①コールドタンク内の圧力があがらない	① エアボールバルブの開き忘れ	① エアボールバルブを確実に開く
	② ②排気弁、蝶ナットの締め忘れ	② 完全閉鎖する
	③ 圧力計の破損	③ 新品に交換する ☆
	④ エア源の不良	④ エア源の確認・調整
②液材が出ない	① 加圧圧空気が送られていない	① エアボールバルブを確実に開く 減圧弁のハンドルを締めこむ
	② 液材ボールバルブの開き忘れ	② 液材ボールバルブを確実に開く
	③ 液材がない	③ 液材を補給する
	④ 吸込濾過器・配管のつまり	④ 洗浄する
③蓋の攪拌軸穴部よりエアーが洩れる	① Oリングの損傷、緩み (COT-3M)	① リングの交換 ☆
	② V型パッキンの緩み (COT-10M/-20BM)	② パッキン押しの締め増し☆
	③ 軸の摺動部の消耗	③ 軸の交換☆
④攪拌羽根が回転しない	① スピードコントローラからエアーモーターまでのチューブの折れ・詰まり。	① チューブの交換 ☆
	② Oリング部の液材の固着	② 軸周辺の洗浄 ☆
	③ エアーモータの故障	③ 分解整備をする ☆
⑤減圧弁のハンドルを緩めても、圧力が下がる	③ 減圧弁のシート部の損傷	④ 新品に交換する ☆
	④ シール部にゴミが付着	⑤ 分解整備をする ☆

■ 9. 構成部品

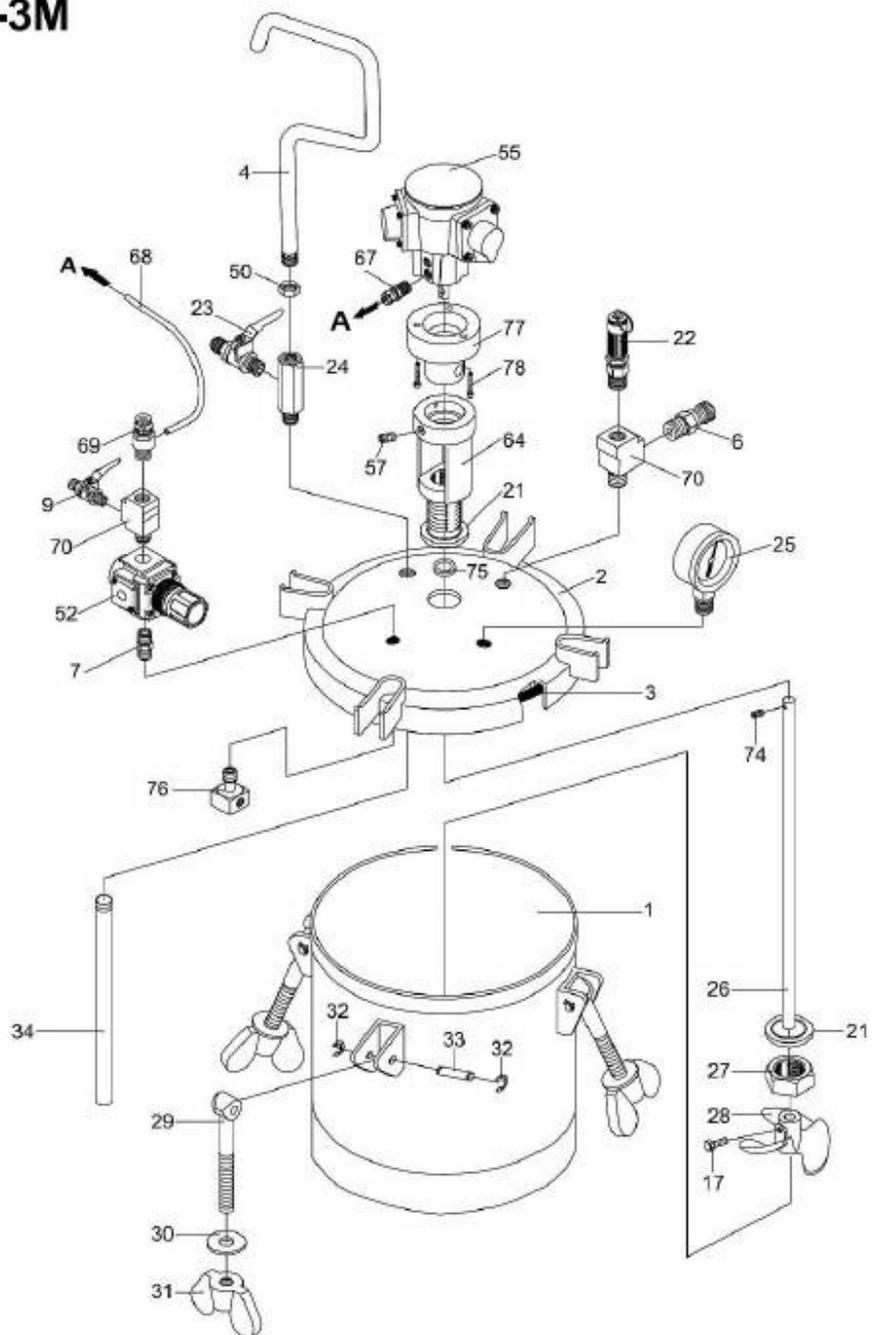
9-1. コールドタンク (COT-3M)

※印の部品は、消耗品です。

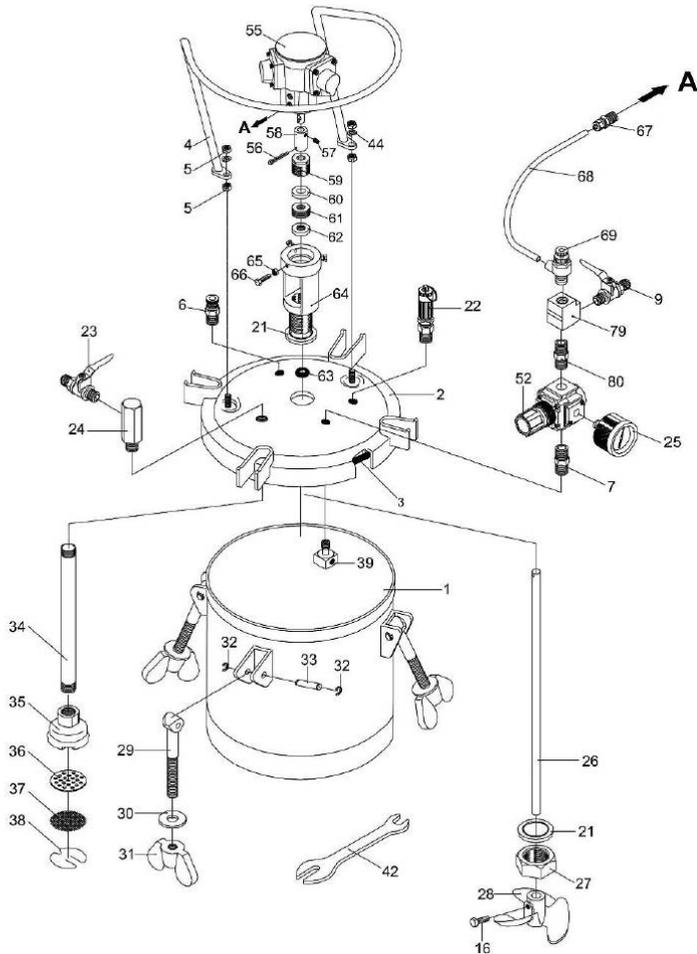
No.	品名	個数
1	タンクASSY	1
2	蓋ASSY	1
※3	蓋パッキン	1
4	ハンドル	1
6	排気弁	1
7	アダプター	1
9	ボールバルブ	1
17	六角ボルト	1
21	シーリング	2
22	安全弁ASSY	1
24	吐出アダプター	1
25	圧力計	1
26	攪拌軸	1
27	六角ナット	1
28	攪拌羽根	1
29	アイボルト	4
30	座金	4
31	蝶ナット	4
32	C型止め輪	8
33	アイボルト止めピン	4
34	吸上げ管	1
50	六角ナット	1
52	減圧弁	1
55	エアーマーター	1
57	六角穴付止めねじ	1
64	エアーマーター取付ステー	1
67	クイックジョイント	1
68	チューブ	1
69	スピードコントローラー	1
70	アダプター	2
74	ねじ	2
※75	Oリング	1
76	エアガイド	1
77	モーターアダプター	1
78	なべ小ねじ	3

(ASSYはアッセンブリーの略です)

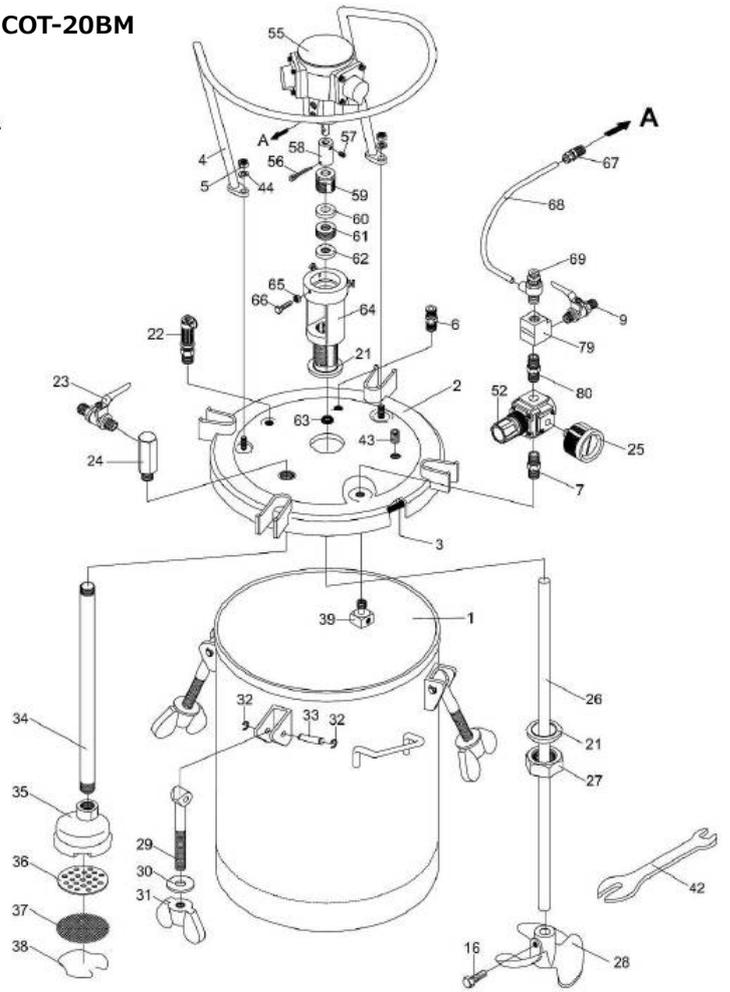
COT-3M



9-2.コールドタンク(COT-10M/-20BM)
COT-10M



COT-20BM



No.	品名	個数	
		COT-10M	COT-20BM
1	タンクASSY	1	1
2	蓋ASSY	1	1
※3	蓋パッキン	1	1
4	ハンドル	1	1
5	六角ナット	4	2
6	排気弁	1	1
7	アダプター	1	1
9	ボールバルブ	1	1
16	六角ボルト	1	1
21	シールリング	2	2
22	安全弁ASSY	1	1
23	ボールバルブ	1	1
24	吐出アダプター	1	1
25	圧力計	1	1
26	攪拌軸	1	1
27	六角ナット	1	1
28	攪拌羽根	1	1
29	アイボルト	4	4
30	座金	4	4
31	蝶ナット	4	4
32	C型止め輪	8	8
33	アイボルト止めピン	4	4

No.	品名	個数	
		COT-10M	COT-20BM
34	吸上げ管	1	1
35	吸込濾過器本体	1	1
36	吸込濾過器支え板	1	1
37	濾過網	1	1
38	吸込濾過器リティナー	1	1
39	エアガイド	1	1
42	スパナ	1	1
43	六角穴付プラグ	—	1
44	ばね座金	2	2
52	減圧弁	1	1
55	エアーモーター	1	1
56	スプリングピン	1	1
57	六角穴付止めねじ	1	1
58	軸継手	1	1
59	パッキン押し	1	1
60	パッキン受け金具	1	1
※61	V型パッキン	2	2
62	パッキン押え金具	1	1
※63	Oリング	2	2
64	エアーモーター取付ステー	1	1
65	六角ナット	3	3
66	六角ボルト	3	3

No.	品名	個数	
		COT-10M	COT-20BM
67	クイックジョイント	1	1
68	チューブ	1	1
69	スピードコントローラー	1	1
70	アダプター	1	1

※印の部品は消耗品です

■ 10. 保証と修理サービス

10-1. 保証について

お買上げの商品を本取扱説明書にしたがって、正常のご使用状態で万一故障が起きました時は、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	COTー	品名	コールドタンク
お客様	御社名		
	お名前		
	ご住所 〒□□□-□□□□		
	TEL() -	FAX() -	
保証期間	お買上げ日 平成 年 月 日 から 「1年間」 を保証期間とします。		
販売店	販売店名		
	住所 〒□□□-□□□□		
	TEL() -	FAX() -	

◇ 無償保証を受けるための条件および手続き

- (1) 本保証書をご提示の上、購入先の販売店または最寄の当社支店・営業所・サービス会社にご依頼ください。
- (2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan
※本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんので、ご了承願います。

◇ 次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。

- (1) 本保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書にお名前、お買上げ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合。
- (3) 取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷。
- (4) 消耗品の交換・修理。
- (5) 指定外の動力源(電圧、周波数、燃料他)または天災、地変(火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など)による故障および損傷。
- (6) 純正部品以外の部品が使用されている場合。
- (7) 当社指定の修理店以外による修理がなされている場合。

◇ 法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束できるものです。

従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等、またご不明の点はお買上げの販売店または当社支店・営業所までお問い合わせください。

◇ 保証書の保管

- ・「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買上げ日」、「販売店」など、必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入して頂き、納品書とともに大切に保管して下さるようお願いいたします。
- ・本保証書は紛失されても再発行致しませんので、大切に保管してください。

10-2. 修理とサービスについて

修理を依頼されるときには

- ・修理にはお買上げの販売店または当社支店・営業所、サービス会社にご相談ください。この時お買上げの商品の形式名及び、お買上げの時期をお知らせください。
- ・保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- ・詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。また、その他ご不明な点はお近くの当社支店・営業所、サービス会社へお気軽にお問い合わせください。(お問合せ先は当社ホームページをご確認ください。)

お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

- ・ スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、
塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、
環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

- ・ その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間： 9:00～12:00/13:00～17:00

但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

取説 No.T451-06

コード No. 04020300